

東地区 意見一覧

問7：お米以外の作物を生産・出荷している品目

番号	品目
1	果実・ブドウ
2	ねぎ、そらまめ、キャベツ、大根、ブロッコリー等30品目
3	野菜
4	自家消費野菜・水稲
5	アピオス、ジャンボニンニク
6	原木椎茸
7	キャベツ、ブロッコリー、ジャガイモ、ピーマン、いちご、里芋、えんどう類、玉ねぎ、1本ねぎ、トマト、そらまめ、オクラ、アスパラ、大根、白菜等
8	小麦
9	大豆
10	豆類・ナス・ピーマン・里芋、ピーナッツ、たけのこ

問9：地域農業を維持していくために、今後必要なこと

番号	意見
1	農業をする意欲、やる気
2	①～⑩をやってもうまくいかない。今までがそうだったので。
3	若い世帯が住みたくなるまちづくり
4	集約化したときに同時に田んぼに水を入れて効率よく耕せるような対策が必要
5	米の値上げ、小規模農家にも補助
6	資材の安定供給
7	国からの人件費補助（年収1名400万円）
8	町としても今後の農業人口の見通しを分析し、どのように農業を推進していくか方向性を具体的に示すべきだと思う。
9	企業型農業
10	米の価格UP

問10：地域農業の将来に対しての期待すること、不安に感じること

番号	意見
1	後継者がいないため不安である。
2	山間部の狭小地は、害獣が多く水源確保が困難であるため、誰でも耕作できるわけではなと思われま。機械が入れる道の整備など費用がかかる割に利益が出ないと思われま。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自己の田に行くにも、その間の農道等の管理が全くなされていないため、竹や雑木によって通行ができない状況にある。 ・ 自己の管理する休耕田等の草刈りをして、イノシシにより田の畔を壊されたり穴をあけられたりしてしまい、何も作れない。
4	若い人が少ないので、地域を維持して行くことは大変だと思います。何か良い方法があれば教えていただきたいです。
5	鳥獣害対策が出来なければ山中では無理です。
6	<p>遠方からの水田耕作担い手誘致進める中で担い手者面積のオーバーによる、管理不足による水田の雑草、鳥害被害が多く見られ耕作地荒地の増加。今後の地主と担い手の契約が難しいのでは。現状では地主は草刈り・水管理契約を受けているの多いが、今後の問題増加。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大型農家限界 ・ 小規模農家-----耕作放棄地の増加（中山間地増加） ・ 小規模農家の保護 担い手と契約を見ると土地を維持してゆきたい気持ち ・ 小規模農家耕作面積の計画（小規模面積） 1~2ha内 ・ 草刈り増加対策
7	後継者不足が一番不安
8	農業の純利益650万、町の指導で達成すれば行います。無理であれば論外ですね。
9	特に期待はしていない。
10	人口減少による農業従事者が減っていくなかで、今後どのように管理していくか不安を感じる。
11	町外の農家が耕作に入っているが、土地所有者はますます高齢化していく。草刈りや水ひきなども含め、耕作者が担当してくれる人材を見つけてほしい。
12	現在の耕作してもらっている農地がこの先もずっと耕作してもらえるのか不安です。
13	部落→団結なし
14	農薬、肥料、燃料の高騰など、作っていても割に合わない。やめたい。

番号	意見
15	<ul style="list-style-type: none"> ・10年後には地域農業は終わると思います。国へ土地を返却することも検討しなければいけないと思います。 ・町で新たに会社（企業）を立ち上げ、人を雇って運営する（地域で労働力のある方を使う）。 ※他の地域の人だと責任感もない為すぐに逃げる。 ※雇用も増え老後の金銭の足しになるし、地産地消になる。 ※レストランやバルなどに水平展開し、更に収益を増やす（カフェは×、収益性も低く他にもあって客の取り合いになっている）。 ※SNSやメディアを徹底的に利用し、町の地方を覚えてもらう。ノウハウを売る（本など）。
16	<ul style="list-style-type: none"> ・中原は田んぼに高低差があり、田んぼづくりの時に丁寧に作らないと水持ちが悪く、水持ちの田があるといつも水を入れていて、水が欲しい時期に入れられないのでその点の改善策が問題である。 ・バルブが高い場所にある田んぼは水が出ない。
17	自分の水田に近接する小野田地先の水田で最近ジャンボタニシの生息が確認され、今後自分の水田を介して中原地区内へ拡散させてしまうのではないかと不安に感じている。
18	集約化の実現。休耕地は保全協でカバーする。
19	現在の農地を売却したい。土地は維持管理が困難である。
20	今後いつまで維持管理できるのかわからない。
21	TPP等により海外の安い農産物の輸入により、農業従事者の収入だけでは食べていけない。
22	安定して収入が得られるしくみ。生産・流通・販売・消費、維持するには、多くの課題があり個々悩みもそれぞれ。
23	後継者がおらず、また家族以外の耕作者が継続できるという保証もないので、田畑の整備が今までのようにはできず荒れてしまう。他者の土地でも耕作できる人がおられたら、町役場など公的に教えていただけるしくみなどを広めてほしい。こちらがもっと積極的に聞きに行けばよいのだと思うのですが。
24	農業やりたい人に全部農地あげます。農地、ただでもらってくれる人いませんか。
25	儲かる農業法人組織の設立
26	<ul style="list-style-type: none"> ・農業者の高齢化、後継者不足が気になります。 ・町外からの担い手が必要だと思います。
27	おいしいお米を残して行ってほしい。
28	後継者がいないので5年後はわからない。
29	小規模農家にも助成金を期待する。
30	10年後は耕作していない。
31	問9の③を強く願います。手伝いに行く意思もあります。
32	<ul style="list-style-type: none"> ①現在委託している個人、法人が再委託で永続できることを期待する。 ②法人組織の強化で、永続性を高める必要 ③法人の作物構成の多角化で法人所得強化の支援強化

番号	意見
33	不安に感じる事。米の価格が安い為、法人組織、生産者集団で利益が出せず、耕作してもらえなくなる。（農業機械、ガソリン、電気代が上がる）
34	3200㎡の農地管理の草刈り作業が大変です（80歳）。何か土地の活用方法はないかと悩んでいるところです。
35	担い手への役場からの援助
36	米価が上向いていることで添削作物（飼料米）等から主食用米へ転化が懸念され、飼料米生産者にとってきびしい生産価格、資材高騰が続き、販売価格、団地化の見直しが必要と考える。
37	不便な田なので、いずれは荒らしてしまうかもしれない。
38	担い手の減少、高齢化
39	若い人が米作りできる政策、農業で生活できる収入の確保
40	不安に感じる事。後継者問題。
41	今後の担い手はどうなるのか不安です。10年後。
42	集積を進め、機械化を進めた農業と、小さな農家が営む農家が共存できる農業が進められたら町が活性化していくと思う。
43	①地域の営農組合に従事する方たちの高齢化に伴う後継者育成が必要。 ②農業機械導入時の町の補助金（比率）の確保。
44	子供が独身のため、あと20年位で家が絶えます。
45	少子化、高齢化が進む中で農地を維持管理するには限界があるので、意欲ある人・団体との橋渡しがあればよいが、高齢者には難しい。
46	担い手不足で農地荒れが心配。営農組合は有るが、平均年齢が70才以上で後継が無い。
47	・法人、営農組織においても、後継者難である。 ・機械の更新に町の補助が必要。 ・直売所を作ったり、新しい作物の耕作を指導したり、町が率先して先導してほしい。
48	農作業の従事者の年齢が65～70歳（平均70歳近く）で、10年後、地域の農業従事、継続が可能か不安に感じる。
49	自分たちの代はなんとかなるが、それ以降はどうなるのか。
50	営農組合の一人として稲作をしています。色々な補助金でようやく成り立っているとのこと。働いて色々負担がかかっている割に、JA等での米の買取価格が低いのではないのでしょうか？農業で生計をたてるのは難しいと思います。
51	少なくとも安易に外国人労働者は入れないでください。農業はすべての産業に優先します。農業経験者ほど優秀な人たちです。
52	耕作地の荒廃
53	担い手の確保と収益性を高めることができないことが、最大の課題だと思う。

番号	意見
54	<p>稲作を耕作して不安に感じること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農協の農業資材を追加購入する際、遠いので不便です。ATMも近しくなく、遠くて不便です。今後の農協の縮小していく姿かなと感じさせられる。 ・農業機械を補助金購入した機械なのに利用組合員以外は、利用できないようです。個人的理由があるかも。 ・高齢化により地域農業の意見交換する際のリーダーがいない。
55	<p>地域が過疎化し担い手不足の為農地が荒れること。</p>
56	<p>農業従事者の高齢化。地球温暖化に伴う気温の上昇や、大雨の増加により、稲の生育や水田等の保守管理に大きな変化が出てきて不安を感じる。</p>
57	<p>後継者のいない土地持ち非農家で営農組織に農地を委託している現状。農地の将来を計画することは重要な取組であると思う。</p>
58	<p>私は東部営農組合の組合員ですが、今後高齢化と担い手不足という問題がおこってくると思いますが、後継者の育成が大事だと思いますので働きやすい環境をつくり、後継者が増えるよう期待します。</p>
59	<p>担い手不足について。農業は10年以上前から担い手不足、自身も地域の団体に耕作を依頼し、自身での耕作を放棄した。60歳となった今、勤める会社も担い手、技術者不足、65歳まで働くのは当たり前。さらに継続して働くのが必要な状況と化している。5年先、66歳から仮に担い手に耕作放棄した自身がそこからなれるのか不安。まだ働いているのかも予測は全くつかない。</p>
60	<p>古い習慣があり、若者の参入が難しいと感じる。特に、この地域のストロングポイントはなにか？農地が多く、そこにスポットを当て、若い担い手がやりたいと思う施策を提案実行してほしい。また、行政サービスも然り。相談など、今はとてもしにくい。窓口も分かりづらい。他の自治体を参考に、改善ではなく改革をすべきだと思います。</p>
61	<p>持続可能な農業にするためには山積みする課題が多く、解決することが非常に困難な状態だと感じる。設問9の項目の全てが必要であり、優先順位を付けながら、国・地域が一体となり積極的な取り組みができるように期待をする。</p>
62	<p>少子化で若人がいない。田舎に勤める会社がないから流出していく。一度便利な都会に出たら不便な田舎にUターンする者はいない！ 大企業の進出を図り、雇用条件を良くしなければ残る人はこれからもいないでしょう。誘致</p>
63	<p>今後の農業の展開は、集約化と大型乾燥施設の設置がカギとなります。東部、西部、関原をキー設備として、不足する地域は二箇所くらい設置して、大型化を図ります。そうすれば、将来残れるかもしれません。</p>
64	<p>耕作の土地が昔、畑、田をお金の代わりに、土地で解決していたので自分の畑や田んぼが、家からはなれているので、その問題を解決してほしいです。</p>
65	<p>農業を次世代に引き継いでいくのなら、町がもっと町外へ長南町の農業の魅力をアピールするべき。また、アピールできる場所を考えるべき。</p>

番号	意見
66	農事組合法人の営農組合であっても、交付金・補助金がなければ成り立たない地域農業となっている。ゆとりある理想の農業活動を維持継続させるにはどうすればよいかわからない。現状のままでは終活への準備となりそうだ。このアンケートで、目標となる地図作りは可能なのだろうか？
67	営農組織と個人担い手による農業経営、畑作物は自家消費。米は単価が上がれば担い手が多くなる。
68	谷津田で農道も集水も排水もできない下の方では土手も崩れたまま大きくなっている。農業はしていない。
69	<ul style="list-style-type: none"> ・流通市場の見直し ・特産品への取組 ・都市部の人の意見を聞く
70	将来の農業に期待すべきより、重要な課題があります。現在、地域内でも高齢化が進んでおり、生活環境の保全だけでも不安があります。
71	現在耕作していない田があります。近くの田の持ち主が売却し、ソーラー発電を行っています。ソーラーの下に黒いシートが張ってあり、雨水が私の家の田に滝のように流れ込み、田に亀裂が入ってきている。耕作していないのが悪いのかもしれないが、あちこちにソーラーがあってあまりいい気持ちがない。休耕中の田にそら豆等を作って、加工場を作り、地域独自の食品を作ったらどうかと思う。女性の力を発揮させる場を作ったらどうかと思う。竹の林がたくさんあるのでメンマづくりなど。
72	米価格が上がらなければ農業は魅力がない（農機具高騰）
73	<ul style="list-style-type: none"> ①担い手の高齢化 ②人件費と米価 ③法人組織の効率化（担い手の高齢化の為）
74	農地が荒地にならなければ良いと思うしだいです。
75	現在の営農組合法人自体、高齢化している方々が担っているなか、今後はどうなるか。いきなり耕作放棄地が増大してしまうのではないかと不安。農業の未来を再構築してほしい。
76	農民の高齢化が進み、何をするにも厳しい条件が付きまとう、労働力を考えた農業が必要と史料する。企業型農業（野菜関係の生産）を考える必要がある。
77	<ul style="list-style-type: none"> ・担い手不足による営農組織の運営 ・機械、施設の入替による費用負担 ・米価の低迷により稲作が継続できるのか不安。 ・稲作の補助金を期待する。又、機械購入に対する補助。
78	法人組織へ今後若い担い手の確保が大変ではないかと不安に感じます。
79	現在法人組織で行っているのととても助かります。これから先この法人を担う人が続いていくことができるのが一番大切です。少子化で地域の人だけでできない時が来るのではとても不安です。
80	食物自給率の低い日本をフランスのように高くするには国の方針を変えないといけないと思

番号	意見
81	農家の担い手がいなく高齢化が進み、これから農地の土地改良をしてもかわらない。東部営農組合が地域にあるが電気代、燃料代色々物が上がっていて米の値段は下がっている。将来農家はどうかかわらない。
82	水稲の他に畑地化に期待します。
83	農地・草刈り処理
84	農業は定められた収入が得られない。朝早くから夕方まで休む暇もない。若い人が農業をやる気持ちがない。
85	設備等（機械・農薬等）の投資が多く、収益が上がらないことから働き手がいなくなる。
86	農業は安定した収入が得られない。就業時間ははっきりしない（早朝～夕方）、休みがはっきりしない（場合によっては農業は休みがない）、農地の維持管理（草刈りは猛暑で行うなど）が大変。他にもいろいろあると思われるが、以上のことから今の農業に期待が持てないと考えられる。農業に関心を持って取り組もうとする若者もいるかもしれないが、上記のような問題のある限り就農者は今後も少ないと思われる。
87	長期間耕作放棄状態なので（周囲含む）今後心配です。
88	農地を活用できてほしい。
89	今現在、東部営農組合にお願いしていますが、人材不足が心配です。